

監査委員の決算審査・財政健全化審査意見(要約)

○ 審査に付された一般会計、特別会計及び上水道事業会計の歳入歳出決算書・歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りないものと認められた。又、各基金の運用状況を示す書類の計数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りないものと認められた。

平成23年度は、前年度末に発生した東日本大震災の大混乱の中でスタートした。災害対策本部で試算した概算被害総額は47億円(23.7.19現在)と想像を絶する巨額なものであった。インフラ関係施設の被害も大きく深刻な状況に陥った。行政側としても町民の最低限の生活を確保するため町内の関連事業者の協力のもと不眠不休の復旧対応に当たった。この対応の結果、町民の生活にも僅かではあるが落ち着きを取り戻すことが出来た。対応に当たられた関係者の皆様に深く感謝しあげたい。

この様な混乱の中、今般の地震を起因とした福島第一原子力発電所の事故が発生、放射線汚染という世界的にも稀な非常事態が加わった。当町はもとより我が国にとっても歴史人類を見ない苦難の年度であったと言える。

このような状況で推移した平成23年度の決算結果は、これら震災及び原発事故の復旧関係費に多額を投入せざるを得ず、歳入額、歳出額とも過去最高の数字となった。

幸い国側等の特別措置による補助があることから財源の確保には懸念がないとみられる。従って、当町の財政構造への影響はある程度あるにせよ財政悪化等懸念する事態には至らないと判断する。今般の大災害に対し、各方面から暖かい義援金が寄せられ本町へも多額の配分がなされ貴重な復興財源となった。支援下さった皆様に厚く御礼を申しあげたい。

今までに経験したことのない大災害は町民の生活を一変させた。復興に係る期間は今後、数年単位の長きに亘るものと推測される。官民一体となった復興努力を続け、第5次総合計画の基本理念である「かわる かがやく、牧場の朝のまち かがみいし」の実現に向け歩み続けることを願う。

○ 審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

代表監査委員 根本 次男
監査委員 木原 秀男

9月定例会から



編集後記

10月17日鳥見山体育館において鏡石町制施行50周年記念式典が知事、国会議員、県議会議員、近隣市町村長など沢山の来賓を迎え、盛大に開催されました。

村から町となり半世紀、この間町は大きな変化を遂げましたが更に、50年先どのような町を作っていくのか町民・議会・町執行が大いに議論を深め合い、50年先の町民から大いに評価されるようにしたいものです。東日本大震災の復旧に追われる毎日ですが、未来を考える時間も持ちたいと思う50周年記念式典でした。

発行責任者

議長 渡辺 定己

広報編集委員会

委員長 円谷 寛
副委員長 菊地 洋
委員 長田 守弘
委員 井土川好高
委員 大河原正雄
委員 木原 秀男

財政健全化判断比率

(単位：%)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	—	—	15.0
連結実質赤字比率	—	—	—	20.0
実質公債費比率	20.7	19.6	18.5	25.0
将来負担比率	139.4	160.2	119.2	350.0

主要財政分析指標

(単位：%)

	平成22年度	平成23年度
財政力指数	0.581	0.556
経常収支比率	78.9	82.9
公債費比率	16.6	14.5



記念式典には多数の方が出席

50周年記念式典

10月17日(水)午前10時から鳥見山体育館において町制施行50周年記念式典が開催されました。式典アトラクションでは、これからの鏡石の50年を『背負う』中学生らが“どっこいしょ”と、よさこい踊りを披露。牧場の朝のまちづくりを『背負う』頼もしい舞でした。

No.146
平成24年11月
発行 福島県鏡石町議会
編集 議会広報編集委員会
〒979-0001 福島県鏡石町鏡石
電話0248(62)2110
印刷 前永山印刷

未来の鏡石を背負う中学生がよさこい踊りを披露
かがみいし
議会だより

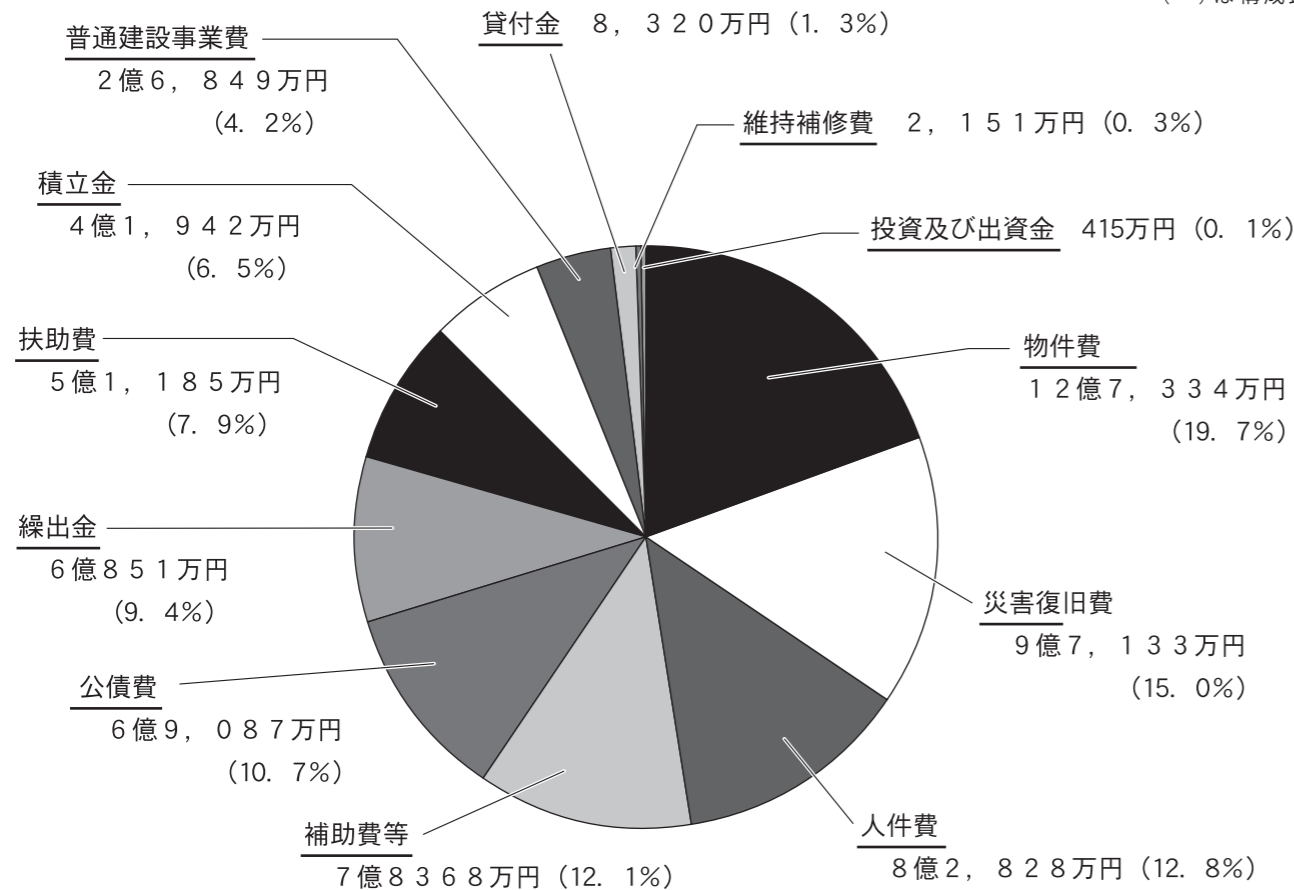
平成23年度の各会計決算認定については、9月4日の本会議において、決算審査特別委員会（長田守弘委員長外9名）が設置され、町長から提出された決算に係る関係書類に基づき、3日間の審査を行いました。

各会計決算の主な内訳や町債残高の状況、主要な財政指数及び財政健全化判断比率の報告を受け、各課各事業の内容等の説明の後、質疑回答方式により審議いたしました。

9月12日に、特別委員会の最終審査の中で採決を行い、その結果を9月14日の本会議において、「全会計において承認すべきとの」委員長報告があり、決算書のとおり認定することといたしました。

一般会計決算 64億6,459万円の内訳

()は構成比



町債残高の推移

(単位：万円)

	平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	増	減	増	減	増	減
普通会計	549,632	△23,763	533,289	△16,343	509,403	△23,886
特別会計	427,909	△5,532	421,520	△6,389	415,959	△5,561
合計	977,541	△29,295	954,809	△22,732	925,362	△29,447

9月定例会

23年度各会計決算を認定

平成24年9月（第5回）定例会は、9月4日から9月14日までの11日間にわたって開かれました。

平成23年度の一般会計及び各特別会計決算認定については、決算審査特別委員会が設置され3日間の審議を経て、全会計を全会一致で決算書のとおり認定しました。

また、復興産業集積区域における固定産税の課税免除に関する条例の制定、監査委員の選任同意、教育委員の任命同意、平成24年度補正予算9件等の全19議案が上程され、いずれも原案のとおり可決承認されました。一般質問には6名の議員が登壇し、町政について問いました。



町制50周年記念式典から

決算総額 105億1千万円 5億7百万円の黒字決算

平成23年度の上水道会計を除く全会計の総決算では、10,515,762千円（前年対比73%増）の歳入に対して、9,771,053千円（前年対比76%増）の歳出となり、実質収支で507,865千円（前年対比38%増）の剰余金を生じ、次年度繰越を行うこととなった。

(単位：千円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	形式収支	実質収支
一般会計	7,038,507	6,464,593	573,914	339,952
国民健康保険特別会計	1,526,514	1,401,967	124,547	124,547
後期高齢者医療特別会計	76,099	75,876	223	223
介護保険特別会計	731,254	697,541	33,713	33,713
土地取得事業特別会計	3,715	3,715	0	0
工業団地事業特別会計	165,872	163,547	2,325	2,325
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	84,761	83,796	965	2
育英資金貸付費特別会計	13,555	12,207	1,348	1,348
公共下水道事業特別会計	799,586	792,815	6,771	4,852
農業集落排水事業特別会計	75,899	74,996	903	903
小計	10,515,762	9,771,053	744,709	507,865
上水道事業会計	290,135	233,897		56,238

*実質収支とは、歳入歳出差引額（形式収支）から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した決算額です。



小林政次議員

- 大震災復旧工事は進んでいるか
- 中学生の学力レベルはどうか
- 障害者交流は行われているか

質問 東日本大震災に係る繰越明許費の災害復旧事業の進捗状況はどうか。

総務課長 8月末の着工割合は全件数79件の内75件で95%。事業費ベースでは12億7千37万円の内、12億2千133万円で96%となっている。

質問 工事は工程表のとおり順調に施行されているか。また、業者への指導・監督は、どうなっているか。

総務課長 担当課では毎月1回各事業者から工事ヒアリングを実施し、工程の管理や問題点の把握に努めながら指導・監督に当たっている。



質問 災害復旧事業は平成24年度内に、全て竣工できるのか。

健康福祉課長 出来る限り努力を重ね、年度内に完了できるように努めたい。

質問 中学校生徒の学力は、全国及び県内の学校と比較して、どの位の位置にあるのか。

教育長 4月実施の全国学力学習力調査、3年生対象によると国語、数学、理科の正答率で、全てにおいて全国平均及び県平均を下回った。県の順位は全国22位。学校の順位は公表されていない。

質問 学力向上のために教育委員会は、どのような施策を講じているか。

教育長 教職員を中心に設置している基礎学力向上推進会議の中で、学習意欲を高めるための授業の工夫と学力向上を図る教育活動の充実を研究課題として取り組んでいる。天栄村と共同で学校教育指導研修会、

学校としては、基礎基本の徹底をねらいとした学習コンテンツの実施などにより学力向上に努めている。



活力ある中学生は町の宝

質問 福祉充実のため、体の不自由な方の交流の場の拡大について検討結果は、どうなっているか。

健康福祉課長 就学前児童とその保護者対象の、集いの広場が開かれないうちに開催できないか、検討

している。また、必要に応じ相談員配置を検討している。

質問 現在の福祉政策は在宅福祉中心で、養護学校児童に対するケアは不十分である。行政と養護学校との連携が必要ではないか。

健康福祉課長 須賀川市、天栄村と共同で設置している須賀川地方自立支援協議会において養護学校もその構成員となっており、主に生活支援について連携している。さらに、一般家庭や医療機関等も含めまして、障害を持つお子様への支援を強化したい。

質問 鏡石町相談支援ファイルは素晴らしいので、町外でも活用すべきだが、どうか。

健康福祉課長 相談支援ファイルは生涯に渡り適切な支援を実施する為、支援機関が基本的な情報を共有化するものである。活用は可能である。



菊地 洋議員

- 総合福祉センター建設計画はあるか
- 中学校いじめ対策はどうか
- 除染業者選定はどうなっているか

質問 町の福祉行政について施設建設の必要性を感じるが、仮称ではあるが総合福祉センター建設の計画はあるか。

町長 現在の保健センターの機能が、不十分であるとの認識はある。健診や震災避難所等の観点からも不便であった。福祉行政の横の連携を図るためにも、総合福祉センター建設の必要性は感じている。

質問 福祉関連基金の積み立てについて、どう考えているのか。

健康福祉課長 福祉基金は果実運用型基金であるが、基金には取り崩し型基金もあるため、今後検討したい。

町長 福祉関係の基金には社会福祉整備基金もあるので、近い将来に備えて積み立てを検討したい。

質問 福祉施設建設に係る国県の補助金はあるのか。今後、財政対応をどう考えているか。

副町長 現在町には、総合福祉センター建設に係る具体的な計画はないが、今後は建設を視野に入れながら、県の保健福祉部との情報交換を図り、検討を進めたい。

質問 小中学校の不登校及びいじめの実態はどうなっているか。また、教育は現場から始まるものだと思うが、教育長の教育理念を伺う。

教育長 中学校での不登校や不登校気味の生徒は6名いる。いじめの報告は各学校から受けていない。教育委員会としては、いじめは出さない、出ないように校長会あるいは学校訪問を通して指導支援したい。

質問 中学校の表土除去は終わっているが、削った土の移動は

いつ頃になるのか。

教育長 当初穴を掘り仮処理する計画だったが、地下水が出たため盛土処理に変更した。町内に仮置場が出来次第、優先的に運搬処理する予定である。

質問 表土除去後の校庭にまかれた砂のため、球技が出来なくなったとの事だが学校と教育委員会のコミュニケーション不足ではないか。

教育課長 表土除去後は不均一の校庭になったので、砂を入れたが厚さ10cmほどの所もあった。全体をトラクター等で攪拌して整地したので、落ち着いてきている。

質問 放射能除染について、町内の仮置場と説明会開催状況はどうなっているか。

原子力災害対策室長心得 仮置場については町内6地区に分け設置する予定。各行

政区長を通じて候補地を選出し、説明会を開催している。1カ所は同意もあり、設置に向けて準備を進めている。

質問 除染作業業者の選定と契約の方法については、どのように考えているか。

原子力災害対策室長心得 除染業務については、国のガイドラインに沿って進めるようになる。業務発注方法については、競争原理が働くような仕組みにするよう示されている。

質問 除染業者選定方法については他市町村でも、その自治体内の業者で構成する組合に随意契約しているところがあるが、検討できないか。

副町長 町としては競争性を確保することが前提であるが、除染組合に一括発注しているところもあるので、その辺を研究して見極めながら対応する。

- 中学校いじめ対策の取組みは
- 除染仮置場の確保状況は
- 放射能健康被害対策はどうか

畑 幸一議員

除染については環境省との協議が整い、今後効果的な除染を実施したい。通学路は行政区で実施してきたが、今後継続してほしい。果樹園は高圧洗浄等を行ってきた。住宅は全戸除染の対象として計画したい。



質問 除染についての状況、住宅、道路、果樹園等除染の進捗状況はどうなっているか。

原子力災害対策室長心得 除染については環境省との協議が整い、今後効果的な除染を実施したい。通学路は行政区で実施してきたが、今後継続してほしい。果樹園は高圧洗浄等を行ってきた。住宅は全戸除染の対象として計画したい。

質問 大津市の中学校いじめ問題では、自殺や警察の捜査が入る事態が起きている。本町における小中学校のいじめ対策取組状況はどうか。

教育長

学校としては定期的に状況を把握する為、いじめを早期発見できるような項目を設け、アンケート調査を全児童・生徒を対象に実施している。



放射能対策で食品調査

質問 除染廃棄物仮置場の確保が進んでないが、何か打開策はあるのか。

原子力災害対策室長心得 住民の放射能に対する不安が原因と思われる。今後、説明会で不安解消に努める。

質問 放射線健康被害不安に対する適切な対応及び支援策の充実等の施策はあるか。

健康福祉課長

今年度は県事業として19歳から39歳までの方に一般健診が実施された。町独自となる39歳以下の方の特定



全町民に放射能健康対策を

- 屋内遊園施設の開設はあるか
- 小学校に非常用貯水槽を
- 仮設住居者ケアはどうか

古川文雄議員

質問 放射能対策について県内ではすでに開設されているところもあるが、屋内遊園施設を開設する計画はあるか。

健康福祉課長

当町の園庭中心部放射線量は0.09マイクロシーベルトとなっており、野外活動自体を制限するものではない。児童遊園地も同様であり、現時点での屋内遊園施設設置は考えていない。

質問

モニタリングからの判断も分かるが、保護者はより安全な遊び場を子ども達に提供したいと考えている。屋内ゲートボール場の活用やコンテナ砂場等の設置は検討できないか。

健康福祉課長

屋内遊び場確保等については検討した経過もあるので、今後も検討したい。



質問 除染対策の遮へい袋配付実績は、どうなっているか。

健康福祉課長

一般家庭で650枚、行政区及び保育所、学校等へ250枚の合計900枚配付した。

質問

震災等の対策事業について地下式非常用貯水槽の設置は、第一小学校改築工事の関連工事として設置するのが良いと思うがどうか。

町長

震災を教訓に耐震性貯水槽は設置したいと考えている。場所は小学校も含めて色々検討している。

質問

今年度はロードレース大会も予定されているが、鳥見山公園駐車場の震災瓦礫搬出の見通しはどうなっているか。

健康福祉課長

震災瓦礫処分については順調に推移しており、全体の約65%

%完了している。

質問

仮設住宅について、入居が決定しているにもかかわらず、一度も入居していない世帯があるというのを耳にした。現在の状況はどうなっているか。また、入居者の孤独死等が報道されているが入居者ケア等の状況はどうか。

総務課長

8月末で旭町36戸、前山11戸、桜岡27戸、成田8戸で人数は全体で209名が入居している。入居者に対する健康管理については、町の保健師や管理栄養士として県中保健事務所により戸別訪問をして、健康相談や心のケアに努めてきた。また、ボランティアセンターが、くつろぎの場提供として、老人福祉センター内で「ホットカフェ」事業を展開している。

質問

入居期間の延長は考えているか。

総務課長

県では基本的に2年間としているが、動向をみると3年とも言われているので、注視しながら管理したい。

質問

震災による町外避難者に対する情報提供の支援策については、どのような対策が行われているか。

総務課長

自主避難者への情報提供は町のホームページに掲載している。現時点では予防接種等は個別に対応している。



震災に負けずに元気な町を

健康福祉課長

妊婦や子どもを持つ親の不安解消のため、ホールボディカウンターでの測定を行い、放射線を正しく理解できるように研修会を開催したい。また、相談会等も開催し、健康影響に関する不安軽減に努める。

質問

他市町村では放射線管理手帳や個人線量計を配付したとの情報もあるが、町ではどのようなことを考えているのか。

健康福祉課長

電子線量計や空間線量計の貸出を継続するとともに、公立岩瀬病院で内部被ばく量の測定を行う予定である。

質問

18歳以上40歳以下の希望者を対象とした健康診査の無料化推進について、どのように考えているか。

健康福祉課長

今年度は県事業として19歳から39歳までの方に一般健診が実施された。町独自となる39歳以下の方の特定



木原秀男議員

- 庁舎の修繕状況はどうか
- 道路内電柱を移設できないか
- 旧県道地下通路建設経緯は

一般質問

町長 駅東には現在、約40台利用可能な駐輪場がある。屋根のないところには約50台置かれる

質問 駅東は開発予定であるが、自転車置き場は満杯である。増設の予定はあるか。

質問

総務課長 北側は生垣になっており、一部鉄製の門扉があるが、修繕する予定である。

質問

質問 庁舎北側には放置自転車置きかれていたが、今回整理された。だが、門扉には赤さびがある。今後どうするのか。

質問

総務課長 防犯上も門扉や塀で管理する方がよい。予算措置について検討する。

質問

質問 役場庁舎西口ゲートは現在、チェーンで閉鎖しているが、役場は町のシンボルであるから、風格のある門扉や塀にしてはどうか。

都市建設課長

防犯上も門扉や塀で管理する方がよい。予算措置について検討する。

都市建設課長

当該箇所は個人の所有地となっているため、現在町では整備できない。今後町道として整備可能か検討する。

質問

質問 旧4号線の道路補修は、既存路面上からかぶせただけのような状態の舗装になっているため、高齢者等には歩かなく、危険な状態である。補修の仕方が問題でないか。

町長

この道路は県から移管されたもので、県道時代に何回もオーバーレイされており道路高が重なっている。今後解消されるようにしたい。

質問

質問 鳥見山公園内の野草自生地の表示看板について、もう少し

都市建設課長

グリーンロードのごみ箱が封鎖されているが、何故か。

質問

電柱は、道路施設外に設置する余地が無い場合、やむを得ず設置される。道路敷地外への移動については、地権者の理解と費用負担が必要となる。現時点での移動は難しいが、長期的視点から検討する。

都市建設課長

駅前地区の道路内には電柱が立っている箇所がある。道路外には移動できないか。

質問

都市建設課長 園内の野草自生地には珍しい野草があるため看板を設置した。経年しており、再設置を含めて検討する。また、伐採木材については冬季伐採のものと合わせて処理する。

都市建設課長

園内の野草自生地には珍しい丁寧な案内ができないか。また、園内には伐採木材が処理されないで残っているが、何か理由があるのか。

質問

都市建設課長 旧県道成田鏡田線の地下通路は何故できたのか。あの危険なトンネルによって旭町と駅前が完全に分断された。自転車用通路も階段踊り場までかなりのスピードで走っているの、何か事故を起こす心配もある。何故あそこが地下トンネルになったのか。

都市建設課長

旧成田街道踏切は狭いうえに、歩行者や車両の通行量が多く、また駅構内踏切であったため、列車通過までの時間も長く、しばしば交通渋滞が起きる状況であった。これを解消するため、県では笠石高架橋を設置。踏切が無くなったため、歩行者や自転車利用者のために中央地下横断歩道が新設された。



円谷 寛議員

- 町の木オーナー制度導入はどうか
- 二小入口道路改良を望む
- プールと集会所を利用して健康増進を

一般質問

質問 町政50周年記念事業として、町の木シダレザクラについてオーナー制度を取り入れて、牧場通り、駅東等に植栽してはどうか。

総務課長

現在釈迦堂川沿いにオーナー制による桜が植栽されているが、町の木シダレザクラは高木になることもあり、提案された計画は無い。

質問

質問 最小限可能なところは、高野池の新しい堤はどうか。

総務課長

成田地区の水利関係人と道路管理者等の予定もあるので、関係機関に協議する。

質問

質問 高久田一貫線について、本町分は完了しているが、須賀川分で行き止まりになっている。須賀川市との協議はどうなっているか。

都市建設課長

須賀川市では別ルートの検討

討はしていないとの事であり、地権者との用地交渉のあり方について模索しているとの事である。町としても須賀川市に要望する。

質問

質問 スマートインターのアクセス道改良について、市街地からのアクセス道路の中で、境地区から行く水田地帯の道路が狭く、通行に支障があるため、利用者拡大のためにも道路改良の計画はあるか。

都市建設課長

スマートインターまでの誘導道路については、町道中央線及び県道からの町道が整備されている。これ以外の道路についても、整備を進めたいが多額な費用を要する箇所もあるため、慎重に検討する。

質問

質問 二小入口付近の通学道路は狭く不便な箇所がある。付近の住宅が無くなった今、歩道改良すべきと思うがどうか。

都市建設課長

二小入口付近通学路の現況

は指摘のとおりである。改良に向け、用地について地権者の理解を求めたい。

質問

質問 健康づくり推進のため、町民プールをもっと活用できないか。メタボ対策等に無料定期券を発行するなど、利用促進することによって維持管理経費としての負担も軽減されるので、検討すべきと思うがどうか。

健康福祉課長

健康づくりのプール活用については、対象事業や実施方法について指定管理者及びび所管課と連携を図り検討する。

質問

質問 町の集会所について未利用が多いが、これを地域住民の健康づくりの施設として活用してはどうか。利用料金等も考慮し、お金をかけないで利用できるシステムにしてはどうか。

町長

地域の健康づくり、高齢者

対策、青少年健全育成等の見地からも有効と考える。施策として取り組みたい。

質問

健康福祉課長 健康づくり事業推進に当たって、家庭で不要となった健康器具等を寄付していただき、集会所やプールにおいて利用してはどうか。

質問

質問 現在、墓地を求めている声を聞く。今後町が駅東開発等を進める場合には、墓地公園が必要となるので、今のうちに墓地公園を建設してはどうか。

町長

既存の墓地の考え方と駅東開発、さらには今後の人口動向といったものをみながら、どのような方法があるのか検討する。